



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月1日

上場会社名 株式会社ファインシンター 上場取引所 東・名
コード番号 5994 URL <https://www.fine-sinter.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 山口 登士也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経理部長 (氏名) 小林 努 (TEL) 0568-88-4355
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|--------|---|--------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第3四半期 | 32,140 | 8.7 | 353 | — | 295 | — | 83 | — |
| 2023年3月期第3四半期 | 29,570 | 2.1 | △1,139 | — | △1,117 | — | △952 | — |

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,065百万円(—%) 2023年3月期第3四半期△830百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第3四半期 | 18.87 | — |
| 2023年3月期第3四半期 | △216.50 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期第3四半期 | 51,964 | 19,275 | 31.8 | 3,749.44 |
| 2023年3月期 | 49,195 | 18,266 | 31.5 | 3,526.86 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 16,500百万円 2023年3月期 15,520百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | — | 10.00 | — | 0.00 | 10.00 |
| 2024年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2024年3月期(予想) | — | — | — | 20.00 | 20.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 40,000 | 0.8 | 800 | — | 500 | — | 250 | — | 56.81 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2024年3月期3Q | 4,420,000株 | 2023年3月期 | 4,420,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期3Q | 19,313株 | 2023年3月期 | 19,251株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2024年3月期3Q | 4,400,712株 | 2023年3月期3Q | 4,400,852株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国際情勢は、国内で新型コロナウイルス感染症の5類への移行により社会、経済活動が正常化に向かう一方、原材料やエネルギー価格の高止まり、中国経済の減速やウクライナ・中東情勢等地政学リスク、インフレ収束に向けた各国政策など、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

こうした中、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は321億40百万円（前年同四半期比8.7%増）となり、営業利益は3億53百万円と前年同四半期に比べ14億92百万円の増益となりました。また、為替変動に伴う為替差益1億51百万円の計上、資本効率向上に向けた政策保有株式の縮減による投資有価証券の売却等により、経常利益は2億95百万円と前年同四半期に比べ14億12百万円の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は83百万円と前年同四半期に比べ10億35百万円の増益となりました。

当社グループは、中期経営計画に沿って資本コストを意識した経営に取り組んでおります。収益力の向上、競争力強化と拡販、電動関連製品・非自動車事業の拡大など事業構造変革によりROE向上を図り、ESG経営を通じて非財務価値を含めた企業価値向上を目指しております。

収益力の向上については、設備の寄せ止めや整流化推進のための組織（BR再構築支援室）を設置し、取り組みを加速しております。

競争力強化の柱である、モノづくり革新「未来Factory」は、当期中に順次量産ラインへ展開予定です。また、グローバル最適生産の一環であるタイ第2拠点については、当期中に一部製品の生産を開始する予定です。

電動関連製品については、新型ハイブリッド車用のインバーター部品について、2023年年初の増産に加え、2024年1月以降に国内子会社において新規生産ラインの稼働開始を予定しており、今後も拡大を図ってまいります。

さらに、事業構造変革を加速するため、技術と営業が一体となった組織（新規拡販室）を新設しました。ESG経営については、顧客や株主・投資家をはじめ、あらゆるステークホルダーの信頼をより確かなものにするため、企業基盤を強化すべくコーポレートガバナンス部を新設しました。コンプライアンス強化、人的資本への投資などを含め、重点分野にリソースを投入してまいります。

これらの推進にあたっては、営業キャッシュフローに加え、政策保有株式の縮減など資産処分により資金を創出し、重点配分を行うことで資本効率の向上を図ってまいります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①自動車焼結事業

当第3四半期連結累計期間においては、タイ第2工場の操業前費用やDX投資などによる固定費増加の一方、半導体不足に伴う減産影響の解消が本格的に進み、国内や米国自動車向け製品の販売量が回復したことに加え、前期分を含めた原材料やエネルギー価格高騰の影響を販売価格へ調整したことや、国内収益構造改善、米国のロス低減が進んだことにより、増収増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は292億52百万円と前年同四半期と比べ24億82百万円（9.3%）の増収となり、セグメント利益につきましては、15億43百万円と前年同四半期と比べ17億44百万円の増益となりました。

②鉄道焼結事業

新幹線用ブレーキライニング及び新幹線用すり板の搭載車両増加に加え、また新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う減便の影響も解消したことから受注が増加傾向となっており、増収増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は15億97百万円と前年同四半期と比べ5億7百万円（46.5%）の増収となり、セグメント利益につきましては、3億57百万円と前年同四半期と比べ2億66百万円（295.3%）の増益となりました。

③油圧機器製品事業

主要取引先の一つである北米顧客が、新型コロナウイルス感染症による仕入リスク対応のため高めに確保していた安全在庫を、仕入リスク減少により在庫調整を実施したため、減収減益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は12億82百万円と前年同四半期と比べ4億19百万円(△24.6%)の減収となり、セグメント利益につきましては、2億19百万円と前年同四半期と比べ2億56百万円(△53.9%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産は519億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ、27億68百万円増加いたしました。主にタイ子会社第2拠点立上げなどに伴う建設仮勘定の増加(前連結会計年度末比30億39百万円増)、保有株縮減を上回る株式の評価額上昇に伴う投資有価証券の増加(前連結会計年度末比6億64百万円増)によるものであります。

(負債)

負債は326億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ、17億59百万円増加いたしました。これは、支払手形及び買掛金の増加(前連結会計年度末比3億85百万円増)、電子記録債務の増加(前連結会計年度末比3億14百万円増)、中期経営計画に沿ったモノづくり革新用設備投資等による長期借入金の増加(前連結会計年度末比10億93百万円増)によるものであります。

(純資産)

純資産は192億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ、10億8百万円増加いたしました。これは、主に円安進行に伴う為替換算調整勘定の増加(前連結会計年度末比3億90百万円増)、その他有価証券評価差額金の増加(前連結会計年度末比4億56百万円増)、利益剰余金の増加(前連結会計年度末比83百万円増)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月30日に公表いたしました連結業績予想から修正を行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,523,853 | 3,878,356 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,600,691 | 7,947,732 |
| 電子記録債権 | 1,396,598 | 1,715,676 |
| 商品及び製品 | 1,285,208 | 1,310,766 |
| 仕掛品 | 2,018,704 | 1,992,544 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,506,863 | 3,605,638 |
| その他 | 333,619 | 364,048 |
| 流動資産合計 | 20,665,539 | 20,814,763 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 14,789,264 | 15,133,596 |
| 減価償却累計額 | △9,806,831 | △10,182,675 |
| 建物及び構築物(純額) | 4,982,432 | 4,950,920 |
| 機械装置及び運搬具 | 53,296,916 | 54,213,649 |
| 減価償却累計額 | △42,780,818 | △44,693,950 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 10,516,097 | 9,519,699 |
| 工具、器具及び備品 | 6,228,104 | 6,710,671 |
| 減価償却累計額 | △5,459,350 | △5,909,845 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 768,753 | 800,826 |
| 土地 | 3,651,132 | 3,685,847 |
| リース資産 | 1,610,083 | 1,625,541 |
| 減価償却累計額 | △856,325 | △954,620 |
| リース資産(純額) | 753,758 | 670,920 |
| 建設仮勘定 | 2,601,451 | 5,641,296 |
| 有形固定資産合計 | 23,273,626 | 25,269,509 |
| 無形固定資産 | | |
| 電話加入権 | 11,407 | 11,407 |
| リース資産 | 45,984 | 26,275 |
| その他 | 674,275 | 784,759 |
| 無形固定資産合計 | 731,667 | 822,442 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,472,906 | 3,137,502 |
| 長期貸付金 | 12,096 | 8,057 |
| 繰延税金資産 | 1,953,156 | 1,790,756 |
| その他 | 86,724 | 124,511 |
| 貸倒引当金 | - | △3,480 |
| 投資その他の資産合計 | 4,524,883 | 5,057,346 |
| 固定資産合計 | 28,530,177 | 31,149,299 |
| 資産合計 | 49,195,717 | 51,964,063 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,806,111 | 3,191,995 |
| 電子記録債務 | 3,244,439 | 3,559,266 |
| 短期借入金 | 10,355,550 | 10,439,795 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,196,799 | 2,124,987 |
| リース債務 | 168,934 | 112,087 |
| 未払法人税等 | 32,215 | 147,089 |
| 未払消費税等 | 49,078 | 254,602 |
| 未払費用 | 656,287 | 694,584 |
| 賞与引当金 | 833,898 | 418,189 |
| 役員賞与引当金 | 31,333 | 23,323 |
| 設備関係支払手形 | 5,085 | - |
| 営業外電子記録債務 | 603,363 | 503,273 |
| その他 | 686,402 | 987,775 |
| 流動負債合計 | 21,669,501 | 22,456,969 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,952,164 | 5,045,703 |
| リース債務 | 759,839 | 724,423 |
| 繰延税金負債 | 35,432 | 37,634 |
| 役員退職慰労引当金 | 106,629 | 67,728 |
| 退職給付に係る負債 | 4,040,053 | 3,980,597 |
| 資産除去債務 | 362,670 | 366,797 |
| その他 | 3,059 | 9,019 |
| 固定負債合計 | 9,259,848 | 10,231,904 |
| 負債合計 | 30,929,350 | 32,688,874 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,203,000 | 2,203,000 |
| 資本剰余金 | 1,721,609 | 1,721,609 |
| 利益剰余金 | 8,987,249 | 9,070,271 |
| 自己株式 | △31,092 | △31,165 |
| 株主資本合計 | 12,880,767 | 12,963,716 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,114,746 | 1,571,409 |
| 為替換算調整勘定 | 1,540,309 | 1,930,853 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △14,981 | 34,134 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,640,074 | 3,536,398 |
| 非支配株主持分 | 2,745,525 | 2,775,073 |
| 純資産合計 | 18,266,367 | 19,275,188 |
| 負債純資産合計 | 49,195,717 | 51,964,063 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 29,570,240 | 32,140,346 |
| 売上原価 | 27,365,564 | 28,104,272 |
| 売上総利益 | 2,204,676 | 4,036,073 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,343,920 | 3,682,795 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △1,139,244 | 353,277 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10,503 | 10,258 |
| 受取配当金 | 74,104 | 97,669 |
| 為替差益 | 113,835 | 151,752 |
| 投資有価証券売却益 | - | 81,631 |
| 助成金収入 | 138,589 | 5,880 |
| 雑収入 | 50,492 | 28,806 |
| 営業外収益合計 | 387,526 | 376,000 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 191,405 | 279,975 |
| 固定資産除却損 | 125,114 | 102,198 |
| 雑支出 | 48,842 | 51,964 |
| 営業外費用合計 | 365,362 | 434,139 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △1,117,080 | 295,138 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △1,117,080 | 295,138 |
| 法人税等 | △209,311 | 212,723 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △907,769 | 82,415 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 45,024 | △607 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △952,793 | 83,022 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|-------------------|--|--|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △907,769 | 82,415 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △164,025 | 456,662 |
| 為替換算調整勘定 | 280,206 | 477,478 |
| 退職給付に係る調整額 | △38,721 | 49,238 |
| その他の包括利益合計 | 77,459 | 983,380 |
| 四半期包括利益 | △830,309 | 1,065,795 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △867,827 | 979,427 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 37,518 | 86,368 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(会計方針の変更)

当社グループの一部の在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、IAS第12号法人所得税（単一の取引から生じた資産及び負債に係る繰延税金に関する会計処理の明確化）を適用しています。なお、本基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

1. 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注1) | 総合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|-------------|------------|--------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 自動車 焼結事業 | 鉄道 焼結事業 | 油圧機器 製品事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 26,770,073 | 1,090,281 | 1,702,116 | 29,562,471 | 7,769 | 29,570,240 | — | 29,570,240 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 26,770,073 | 1,090,281 | 1,702,116 | 29,562,471 | 7,769 | 29,570,240 | — | 29,570,240 |
| セグメント利益 又は損失(△) | △200,758 | 90,362 | 475,425 | 365,029 | 3,570 | 368,599 | △1,507,843 | △1,139,244 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電及び売電、食品に関する事業です。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,507,843千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注1) | 総合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|-------------|------------|--------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 自動車 焼結事業 | 鉄道 焼結事業 | 油圧機器 製品事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 29,252,760 | 1,597,676 | 1,282,825 | 32,133,262 | 7,084 | 32,140,346 | — | 32,140,346 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 29,252,760 | 1,597,676 | 1,282,825 | 32,133,262 | 7,084 | 32,140,346 | — | 32,140,346 |
| セグメント利益 | 1,543,467 | 357,210 | 219,042 | 2,119,721 | 4,056 | 2,123,777 | △1,770,500 | 353,277 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電及び売電、食品に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額△1,770,500千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。